

循環器疾患と免疫

獣医学群 / 獣医学類 / 伴侶動物外科学 I ユニット

井坂 光宏 [Mitsuhiro Isaka] 准教授 [博士(医学)]

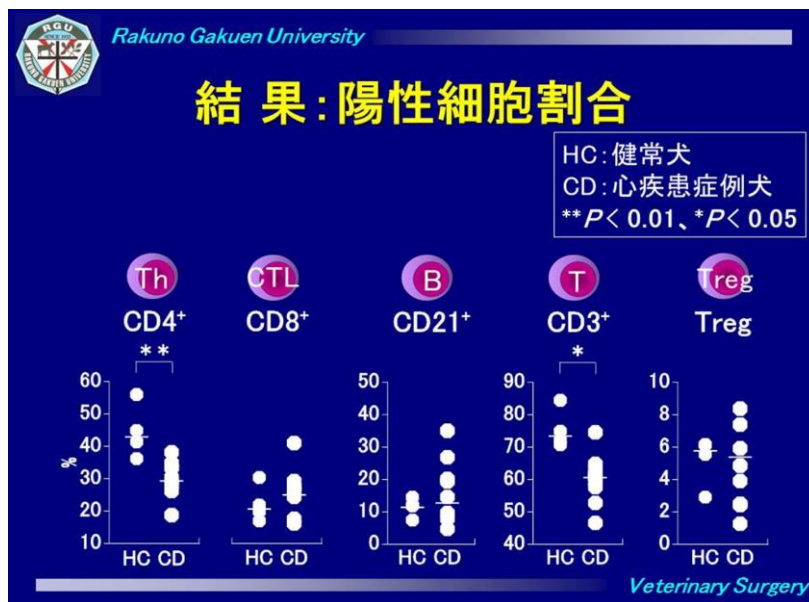


● 研究の概要

循環器疾患は、様々な臓器と関連している(多臓器円環)。その中の一つとして、現在は、主に免疫細胞(主にB、T細胞)と循環器疾患の関連性についての臨床研究を行っています。

● 研究の内容・特徴

循環器疾患は、血行動態だけでなく、炎症と関連しており、全身性の炎症性疾患の一つと考えられている。中でも、ヒト医学ではムコ多糖体症の患者に対するサイトカイン療法や、免疫細胞と心不全の関連性が非常に注目をされている。本研究では、現段階で、獣医学領域ではそのような概念がないため、免疫細胞、サイトカイン、酸化ストレスなどと循環器疾患の関連性を検討する(多臓器円環の検討)。これにより、心臓病を単一の疾患とする考え方ではなく、現時点で、使用される各種血管拡張薬、利尿薬、強心薬など以外に、新しい治療法を確立でき、医学にも貢献できる可能性があると考えられる。現在、免疫以外にも、酸化ストレス、脂肪酸、自律神経との関連性や、肺高血圧症の研究も行っている。



● 用途・応用例

- ・循環器と免疫の関連性
- ・循環器疾患への免疫療法への応用
- ・循環器疾患への脂肪酸などの応用
- ・
- ・
- ・

● アピールポイント

現時点で、獣医学では循環器疾患は血行動態を修飾する薬物だけだが、新しい治療を確立できる可能性がある。また、自然発生性の疾患モデルとして医学と共同研究できる可能性がある。

● 本研究に関連する知的財産

発明の名称：
 特許番号：

● 研究室のホームページ